

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)		相模原市水とみどりの基本計画推進協議会				
事務局 (担当課)		環境共生部水みどり環境課 電話 042-769-8242 (直通)				
開催日時		平成 26 年 8 月 25 日 (月) 15 時 00 分 ~ 17 時 00 分				
開催場所		相模原市役所 第 2 別館 3 階 第 3 委員会室				
出席者	委員	8 人 (別紙のとおり)				
	その他	1 人 (アジア航測株式会社)				
	事務局	8 人 (環境共生部長、水みどり環境課長 他 6 人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0 人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		議 題				
		1 「相模原市水とみどりの基本計画 (中間見直し版) = 相模原市生物多様性地域戦略 = 」案について				
		2 その他				

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

( 委員の発言、 事務局の発言 )

相模原市環境共生部長のあいさつに続き、相模原市水とみどりの基本計画推進協議会委員長があいさつし、議事に入った。

1 「相模原市水とみどりの基本計画（中間見直し版）＝相模原市生物多様性地域戦略＝」案について

事務局による説明の後、質疑応答及び意見交換を行った。

見直した結果、今後どのような方向性でいくのか。

前期5年間、実施してきた施策内容の見直し、概ね良好と評価された施策については、今後も推進していく。また、評価が低い及び未着手の施策については、施策内容等を見直した。さらに、見直しを行うに伴い、新たに生物多様性地域戦略を本計画に盛り込み、新たな施策を作成した。今後5年間については、既存の施策に新たな施策を追加することになるが、方向性の変更をすることはなく、既存の計画を継承していくものになる。

本日の説明用資料を市民に見せる機会があるならば、本計画の内容を見やすくした方がよい。

本日の説明用資料を市民に対して、目標水準の増減の説明をする際は、具体的な年数や数字等を表記した方がよい。具体的なものがないと市民からの意見はもらいにくい。

“水”と“みどり”を組み合わせた理由を絵や図式化して説明した方がよいかもしれない。

相模川ふれあい科学館のリニューアル・オープンや里地里山条例の策定など、作成されたその後の実績を表記した方がよい。また、写真などある方がより分かりやすくなる。

素案の23ページについて、既存の計画書と素案のグラフの中で境川の数値が変更された理由は何か。

より最新の情報を載せるため、出典元が異なっている。

素案の35・18ページ等について、グラフは更新したもののみ載せるのではなく、既存の計画書に載っているグラフも合せて載せておくことで、比較がしやすくなる。

素案の7ページについて、図は間違っているため、早急に修正をした方がよい。

了解した。

素案の78ページについて、クラインガルテンは難しい内容のため、外した方が良い。思想が異なると大事になるため、安易に使用しない方が良い。

用語集にあるように、滞在型市民農園の意味で使用している。

素案の29ページについて、重要種は何が含まれているのか。

国及び神奈川県レッドデータブックに載っているものを該当としている。

レッドデータブックのどのランクまでを該当としているのか分かりにくい。

全てのランクを該当としている。

## 2 その他

事務局より次回の会議を平成26年10月1日(水)10:00から開催することを伝えた。

以上

相模原市水とみどりの基本計画推進協議会 委員名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	田畑 貞壽	千葉大学名誉教授、(公財)日本自然保護協会顧問	学識経験者	出席
2	田淵 俊人	玉川大学農学部生物資源学科教授	〃	出席
3	岡部 誠	(公財)相模原市まち・みどり公社評議員	関係団体	出席
4	石田 幸彦	桂川・相模川流域協議会監事	〃	出席
5	高橋 孝子	NPO法人相模原こもれび副理事	〃	出席
6	秋永 真里子	NPO法人境川の斜面緑地を守る会理事	〃	出席
7	鈴木 史比古	津久井郡森林組合代表理事組合長	〃	出席
8	熊谷 達男	「小松・城北」里山をまもる会副会長兼会計	〃	出席